

銀鈴会の発声教室は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う「緊急事態宣言」を受け1学期は休講の措置をとりました。

声を取り戻そうと頑張っておられる会員の皆様には、コロナ禍の下とはいえ、訓練の場を長期に亘り奪ってしまふことに心苦しい決断でした。1日も早い発声教室再開に向けた感染予防策の検討、準備をし、9月より2学期を再開することができました。

発声訓練中の会員の皆様は、再開を待ちわびたかのように多くの方が出席され、コロナに負けるものかと練習に励んでおります。

感染予防策としては、マスク着用は勿論のこと、入館時のアルコール

コロナ禍での発声教室 元気に2学期スタート

SSK銀鈴増刊



ぎんれいだより

R2年秋号

編集：公益社団法人銀鈴会

東京都港区新橋 5-7-13

ビュロー新橋 901

電話：03-3436-1820

1971年6月17日第3種郵便物認可

(毎月6回5の日・0の日発行)

SSK 銀鈴臨時増刊 ぎんれいだより

NO.12 2020年10月10日発行

通巻第5481号 定価50円

発行：障害者団体定期刊行物協会

東京都世田谷区祖師谷3-1-17-102

医療ルネサンス

No.7349

がん患者会が伝える

4/5

声出せる喜び知ったから

7月中旬、東京都障害者福祉会館（東京都港区）で開かれた「発声教室」。集まった男女約80人は、がんのために喉頭を摘出し、声を失った「喉摘者」だ。主催は患者会「銀鈴会」。先輩会員の「喉頭摘出者発声訓練士」が指導する。

喉頭のない人の発声法はいくつかある。食道に空気を送り、逆流させて、声帯の代わりになる「食道発声」のために喉頭を摘出し、声を失った「喉摘者」だ。主催は患者会「銀鈴会」。先輩会員の「喉頭摘出者発声訓練士」が指導する。

「声が出れば、人が、声が出ると目がはつと輝く。何回立ち会ってもうれしくて拍手してしまいます」。かつての自分の姿と重ね合わせる。

木村さんは元々、新聞の輪転機を製造販売する会社の営業マン。誰でも気軽に話せることが、訓練士の活動にも生かされているという。

国内では、喉摘者の発声指導は、当事者の先輩が担ってきた。同会のような患者会が全国に50以上ある。各患者会が加盟するNPO法人「日本喉摘者団体連合会（日喉連）」は2013年、指導法の標準化をはかろうと訓練士の養成を始めた。今年4月現在、673人が活動している。

日喉連会長の松山雅則さん（77）は「訓練士の認定は発声の技術だけでなく、分け隔てなくコミュニケーションできる力や人柄も重視している」と話す。

仲間の喜びを、わがことのように喜べる。当事者たちから続くボランティア活動だ。

ご意見・情報を 〒100-8055 読売新聞東京本社医療部 FAX03(3217)1960 iryou@yomiuri.comへ

消毒、訓練士・会員の皆様には非接触型体温計による検温及び訓練時のフェースシールドの着用を初級、初

心会員に義務づけて発声訓練を行っております。

コロナ禍での訓練教室の様子については、8月20日付読売新聞朝刊「医療ルネサンス・がん患者会が伝える」の紙面に掲載されました。（7月夏季特別研修時の取材）



読売新聞 令和2年8月20日付朝刊



フェースシールドの着用



非接触型体温計による検温



入館時のアルコール消毒

人工鼻の保険適用について ～ 厚労省通達 ～

人工鼻（HME）は、厚生労働省の通達により令和2年9月1日から保険適用になります。負担率は異なりますが、医師の処方により入手でき、使用数制限がなくなる等メリットがあります。

人工鼻を含め日常生活用具制度は自治体判断によりますが、当面この制度は維持されることになっています。

人工鼻はシャント発声者の発声補助具として日常生活用具の助成を受けられる自治体がありました。しかし、食道発声や電気式人工喉頭発声の喉摘者には助成されていない自治体が多く見受けられました。人工鼻の機能は名前の通り鼻の機能を代用するものであり、全ての喉摘者にとって、肺への負担を軽減し気道の衛生面を強化する器具として有効なのです。



人工鼻（HME）

北里大学の電気式人工喉頭の 音声分析研究に協力

北里大学・言語聴覚療法学教室の村上健先生が研究する電気式人工喉頭（EL）による発話の音声分析についての研究に、銀鈴会のEL訓練士が実験協力をしました。

ELを使用されている方に課題文を音読していただき、その音を録音し分析するという研究です。

その研究からEL発話の聞き取りやすさを高める方法を見つけ出すというのが今回の研究目的です。

ELを3年以上使用されている方が条件です。実験に加わっていただいたELの先生方ありがとうございます。

今後は音声・音響分析を行いその結果を学会発表、銀鈴会への報告を行うっていただきます。



村上先生と池田訓練士

「新型コロナウイルスに対する 喉摘者のためのガイドブック」 イツアーク・ブルック博士

イツアーク・ブルック博士から「喉摘者のためのガイドブック」に続いて「COVID-19（新型コロナウイルス）に対する喉摘者のためのガイドブック」が発刊されました。博士はアメリカジョージタウン大学病院小児科医師です。自身も12年前（2008年）喉頭摘出手術を受け、それ以来喉摘者のケアに関するガイドブックの情報を提供しております。

これまでのケア情報は、「喉摘者のためのガイドブック」、「喉摘者のためのガイドブック拡張版」です。（両方とも、無料の電子ブック、ペーパーバック、Amazonを通じてKindleとして入手できます。）同様の情報は、博士のウェブサイト

「My Voice」

(<https://dribrook.blogspot.com/>)

でも入手できます。ガイド（ブック）とウェブサイトには、放射線と化学療法との副作用に関する情報が含まれています。

銀鈴会ホームページからもダウンロードできます。

コロナ（COVID-19）のパンデミックは、喉摘者患者とその医療提供者に多くの医学的、社会的、精神的な課題をもたらします。COVID-19の喉頭摘出ガイドは、COVID-19のパンデミックに対処する方法を喉頭摘出者と気管孔呼吸者に提供します。感染を防止し、うつ病、社会的孤立、線維症、リンパ浮腫、粘液の問題、およびボイスプロステシスの漏れに対処する方法についての情報が含まれています。食道拡張、入院に対処し、健康を維持し、よく食べる方法を提案します。

ガイドブックは総ページ数60頁で、医学的内容が多くなかなか理解が難しい箇所もあります。興味のある方はぜひ全文をお読みください。

「続報」東京大学の産学連携プロジェクト
新しいデバイス サイリンクス

東京大学大学院 工学系研究科

電気系工学専攻 竹内 雅樹

「ぎんれいだより R2年春号」および「銀鈴第67号」で紹介しました、「失われた声を取り戻す新しいデバイス サイリンクス（Syrinx）」の製品開発の続報です。

サイリンクスはハンズフリーのE



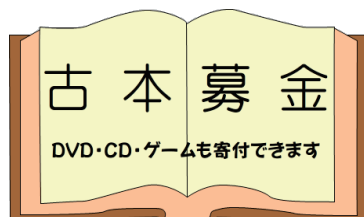
筆者（右2人目）と研究メンバー

しで、首にかけるデバイスのため、片手がふさがるとはありません。しかも、過去の音声データがあれば、自分の声帯に近い音で話すことができます。

前号では、Microsoft社が主催のImagine Cupの世界大会で準優勝をしたとお伝えしました。この度、それとは別の大会であるジェームズダインソン財団が主催のJames Dyson Awardで国内最優秀賞を受賞しました！それに伴ってPVも作りました。ぜひご覧ください。

（PVのリンク
<https://youtu.be/Tth0QY8Xsg>）

皆様に使っていただけるように、より一層開発を邁進してまいります！宜しくお願い申し上げます。



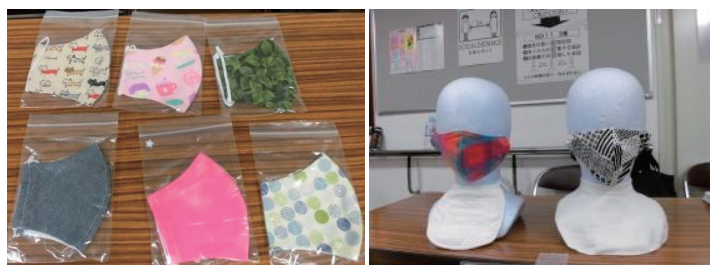
古本募金の流れ



古本募金のお願い
 ～DVD・CD・ゲーム含む～

銀鈴会では会員の皆様のお手元にある不要な書籍（DVD・CD・ゲーム・百科事典・コミック含む）を寄付していただき、買取業者に送ることにより、その資金を銀鈴会の活動に使わせていただく募金運動を開始しました。銀鈴会は会員減少、コロナ感染による活動の自粛などにより資金面で厳しい状況下にあります。会員の皆様のご支援・ご協力をよろしく願います。お問合せは銀鈴会事務局にお願いいたします。

デザインマスクの
販売を開始



銀鈴会では新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、手作りデザインマスクの販売を開始致しました。

色、柄、デザインも豊富で、1枚440円、3枚1,100円（税込）です。お好きなデザインをお選びいただけます。

なお当面はネット販売ではなく、発声教室の受付にての販売とさせていただきます。

コロナウイルス感染が早く終息しマスクを必要としない生活に戻れますように祈ります。

公益社団法人 銀鈴会
 事務局 武内 進
 〒105-0004
 東京都港区新橋 5-7-13 ビュロー新橋 901
 TEL : 03-3436-1820 FAX : 03-3436-3497
 振替口座 : 東京 00160-1-35906
 E-mail : office@ginreikai.net
 ホームページ : <https://www.ginreikai.net/>

♡賛助会ご加入とご寄付のお願い♡

身近な方々の

ご理解とご協力をお願いいたします。

~~~~~

#### 年会費

- ・法人賛助会員 1口 5,000円 6口以上
- ・個人賛助会員 1口 5,000円 1口以上

~~~~~

ご支援ありがとうございました

ご寄付及び賛助会費を頂戴いたしました皆様 令和2年9月末日現在（五十音順 敬称略）

株式会社アトスメディカルジャパン、株式会社オカムラ、三協立山株式会社、株式会社スーパーポテト、株式会社鈴木保有社、住石ホールディングス株式会社、住友林業株式会社、泉工医科貿易株式会社、全日本相撲甚句協会、綜研化学株式会社、第一医科株式会社、株式会社第一興商、大新土木株式会社、太成倉庫株式会社、株式会社大和証券グループ本社、大和ハウス工業株式会社、株式会社電制、東京ガレージ株式会社、南武建設株式会社、ニチハ株式会社、日本ガレージサービス株式会社、有限会社野沢正光建築工房、株式会社ハーフ・センチュリー・モア、橋本総業株式会社、原田産業株式会社、有限会社フジ総合鑑定事務所、株式会社プロテック・ジャパン、三井住友カード株式会社、株式会社三井住友銀行、株式会社明電舎、株式会社名優、株式会社メディカルコーチ、山崎製パン株式会社、株式会社レーサム、株式会社ロッテ、和以美株式会社、SMB C日興証券株式会社、TOTO株式会社、YKKAP株式会社

個人寄付及び個人賛助会員（2019年4月～2020年9月）

青木佑一、青山弘、縣信元、秋元一郎、秋元洋一、浅香高秀、朝田禮一、浅見精二、足立健之助、荒川敬子、荒川洋治、荒松允之、安西竹蔵、安藤京子、安藤純一、飯島敏禎、五十嵐雅勝、井口英子、池田美代、石河文子、石塚康夫、石坂和也、石田研吾、市田治弥、市吉將浩、井手麻喜子、伊藤仁、犬山正人、井上裕子、入谷文雄、岩崎堅司、岩崎伸、岩崎孝義、岩見好雄、上田繁、上榎政隆、宇佐美昭夫、江口仁、榎本節子、榎本まさ子、榎本眞理、江原澄、江原里美、江原節子、大井卓雄、太田時夫、大田政彦、大貫貞子、大貫美智子、大橋敏男、大浜保道、荻原勇夫、岡島正恒、岡田悠紀子、岡戸富美子、小川文啓、岡澤秀郎、奥島茂、奥嶋莊一郎、奥原修、小澤哲、尾野有代、小櫃洋一、笠貫正光、笠貫達也、片山浩晶、片山雅美、加藤慈紀、金子豊巳、金崎勝男、鎌形光仁、茅史郎、川井栄助、川谷内俊哉、岸健作、城所忠男、喜内敏夫、清田次郎、木村建、沓澤昭雄、沓掛昭雄、工藤剛武、久保田博久、久保力男、久保木昭次、久保田親尊、熊川喜代司、栗原弘、小暮英明、小島啓三、小谷昌司、後藤清、小中マス子、小濱利重、権平清、今野真機子、齊藤隆、齊藤博、齋藤隆治、酒井弘子、坂上典子、相樂多恵子、佐久間博、櫻井卓巳、櫻井正身、佐々木昭夫、佐藤和雄、佐藤賢治、佐藤隆史、佐藤英光、佐藤直衛、佐藤泰雄、佐野雅次、佐野幸孝、澤田祐爾、山後弘子、山後祐介、鹿内健悦、重松康男、宍倉信子、宍倉康雄、篠清市、篠奈津子、篠美登里、篠田乃武子、柴田清、芝満雄、島田厚子、島田初夫、島田真由美、清水泉、清水和夫、清水勢津夫、清水好廣、清水保良、七五三和夫、下里岩二、篠原叔浩、正願地孝子、白井芳郎、杉山喬、鈴木綾子、鈴木邦忠、鈴木時子、鈴木文雄、鈴木正子、鈴木光子、鈴木敏彦、砂長治、声友クラブGA生、相馬麻衣子、醍醐輝世、高橋孝壽、高橋剛、高橋敏夫、高橋もと子、高橋保夫、高原明美、滝沢勇、武内進、竹内康子、武田達幸、武田祐爾、建部祐子、田本土郎、つくく、寺尾徹、寺澤永祥、栃木謙治、永井一男、永井芳子、中岡利子、中駄義光、中台庄次、中西正夫、中村隆行、中村マリ子、中村宗夫、新美典子、西野宏、西村恵三郎、新田清剛、荻原勇夫、長谷川サイ、長谷川正一、長谷川良克、服部カツヨ、馬場茂、畑睦雄、浜野耕平、濱野実、林繁、林宏一、半田建二、半野田重俊、東幸子、引間善二、檜森聖三、平澤玉吉、福山幸伸、藤田清、藤原桂子、舩越建治、古部貞雄、實崎和人、星芳文、堀満、堀池泰之、堀江知江子、本田学、前田知子、牧野清、正木壽子、益子満子、増田惣一、増田正毅、松枝清二、松清平、松嶋宏、松田行雄、松田幸雄、松本淳一、松本博、松山光志、松山雅則、松山雅哉、眞辺致一、水島雅晴、三上洋二、三田村一雄、宮原厚夫、宮本啓三、宮本貢、村上憲聖、村田恵子、村松繁雄、村本高史、森本孟子、諸橋茂、八木健、八木又一郎、矢代三江、矢島藤人、安野智、谷田部元吉、築昭子、屋中一夫、山岡弘尚、山岡弘幸、山岡義雄、山岸正央、山口明、山口平男、山崎岩男、山崎浩子、山田捷二、山田三津恵、松田行雄、山田善宣、山寺勉、山藤誠、山村利司、山本勇、山本一雄、横井俊三、與座英夫、吉田久乃、吉野充聡、脇坂佳二、脇田誠照、和田敦子、和田栄子、和田重章、和田義文、渡辺恵一、渡邊幸一、渡邊鐵雄、渡邊みゆき、渡邊正雄、渡邊操、王美林、上級クラス一同、F. H.、F. K.、H. M.、K. A.、N. M.、N. T.、O. Y.、S. M.、T. K.、Y. N.、Y. Y.、Y. S